

# 地域密着型サービス評価の自己評価票

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

取り組んでいきたい項目

| 項 目              |                                                                             | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                  | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)      |
|------------------|-----------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------|------|---------------------------------------|
| <b>.理念に基づく運営</b> |                                                                             |                                                                  |      |                                       |
| 1.理念と共有          |                                                                             |                                                                  |      |                                       |
| 1                | ○地域密着型サービスとしての理念<br>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている      | 開設当初より5項目の理念を掲げており ホーム入り口に掲示しております。                              |      |                                       |
| 2                | ○理念の共有と日々の取り組み<br>管理者と職員は、理念を共有し 理念の実践に向けて日々取り組んでいる                         | 日々の介護時、朝・夕の申し送りにおいて理念にもとずいた行動が取れているかどうか確認しております。                 | ○    | スタッフの入職時は、まず理念の説明からはじめ心得てもらっている。      |
| 3                | ○家族や地域への理念の浸透<br>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる | ご家族の面会時は日々の介護の中に理念が生かされ実行されているか、振り返る場面として考えております。                | ○    | ホーム内から外へ視野を広げて生きたい。(ご近所や町内へと)         |
| 2.地域との支えあい       |                                                                             |                                                                  |      |                                       |
| 4                | ○隣近所とのつきあい<br>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている | 天気の良い日の車椅子での散歩時、近所までの買い物時、通勤時にお会いした近隣の方々へは「まず、挨拶をしましょう」と話しております。 | ○    | 挨拶を交わす中で面識を持ち世間話の出来るような関係になりたいです。     |
| 5                | ○地域とのつきあい<br>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている   | 地域活動への参加は始まったばかりです。夏祭り時、町内の方々と話す機会ができました。11月の定例会にも出席させていただきました。  | ○    | 車椅子でも参加できる行事を見つけて、地元の人たちとも交流していきたいです。 |

| 項 目                  |                                                                                                              | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                                  | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                                            |
|----------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-----------------------------------------------------------------------------|
| 6                    | <p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>                  | 町内会との関わりが始まったばかりの状態です。回数を重ねていき、早く受け入れてもらい、日頃の業務から役立つ事を紹介できればと考えます。現在、地域の中学校より福祉体験で実習生を受け入れております。 | ○    | 町内で行なわれている「家族による介護」の実際を知り、情報交換ができる場面を展開できればと考えております。                        |
| 3.理念を实践するための制度の理解と活用 |                                                                                                              |                                                                                                  |      |                                                                             |
| 7                    | <p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>                           | 評価の目的や意義をつたえ、スタッフの能力や経験にあった関わり方をしてもらっている。結果については申し送り又はミーティング時に報告し速やかに改善できる点は、早く実施する事としている。       |      |                                                                             |
| 8                    | <p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>           | 昨年から運営推進会議が開催できておりません。                                                                           | ○    | 今年12月7日に第1回の運営推進会議を予定しております。                                                |
| 9                    | <p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者らと運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>                           | 最近、市町村との交流が始まったばかりです。                                                                            | ○    | 様々な相談ができるような関係になり、機会を見て訪問したいです。                                             |
| 10                   | <p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p> | 平成17年7月、成年後見制度について勉強会で取り上げ学びました。                                                                 | ○    | 成年後見制度及び権利擁護等に関する事は、意義・内容が深い事項である為、研修会への出席や再度講師を招いた勉強会を行なっていく必要があると考えております。 |
| 11                   | <p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>            | 虐待防止関連法について学ぶ機会はまだありません。                                                                         | ○    | 虐待の意味を深く知る為に、ぜひ勉強会への出席や講師を招いてのスタッフ教育に力を入れたいと考えております。(平成20年1月16日勉強会予定有り)     |

| 項 目            |                                                                                                                  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                                                          | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                                           |
|----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|----------------------------------------------------------------------------|
| 4.理念を实践するための体制 |                                                                                                                  |                                                                                                                          |      |                                                                            |
| 12             | <p>○ 契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだ後、解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>                                | 利用者及びご家族の気持ち、思い、疑問などを解決に向けて十分に説明を行なっている。ご家族が罪悪感をもたれない様に十分に傾聴している。                                                        | ○    | なれない生活の始まりで不安が一杯の気持ちを理解し、質問・疑問に誠実に答える姿勢を崩さないようにしている。                       |
| 13             | <p>○ 運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>                                | 体調良好時の状態を十分に把握しておき、利用者の言動・行動によるサインを見逃さないようにしている。申し送り時にスタッフ全員へ報告し、周知してもらう                                                 | ○    | 利用者自身が不満・意見を言われる機会が減ってきています。だからこそ、相手の立場に立った心配りが必要な時期に来ているとスタッフ一同が認識しております。 |
| 14             | <p>○ 家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>                              | ご家族の面会時を利用し、最近の様子を必ず報告し安心していただいている。また、勤め帰りに見えられるご家族で「連絡ノート」を利用しております。遠方にいらっしゃるご家族には、書類郵送時に利用者ご本人の手書きのものや写真等を同封しております。    | ○    | スタッフ全員が同じような関わりができるようレベルアップを目指している。                                        |
| 15             | <p>○ 運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>                                | ご家族の面会時には、何でも言っていただく人間関係や雰囲気作りに取り組んでおります。また、後日情報が入ってきた場合は早急に連絡を取り、十分に話を伺ってから解決策を講じております。そして、申し送りやミーティング時に報告し全員で周知しております。 | ○    | 有事以外にも話が弾む様な人間関係を構築して行く事を理想としています。                                         |
| 16             | <p>○ 運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>                                            | 月1回の責任者会議において、スタッフの意見や提案を出し合う場として設けております。                                                                                | ○    | より良い介護に向けて多くのスタッフの意見や気持ちが反映できる職場の雰囲気作りを目指している。                             |
| 17             | <p>○ 柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>                      | 現在に至るまで時間勤務調整を必要とする事態は起こっておりません。                                                                                         |      |                                                                            |
| 18             | <p>○ 職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p> | グループホームの職員については、なるべく固定化を図り顔なじみの職員によるケアを心がけている。                                                                           | ○    | 施設内の定期異動を抑え、複数の施設への配属にならない様な人員配置を行なう                                       |

| 項 目                                                                                                                                      | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                                               | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                                      |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-----------------------------------------------------------------------|
| 5.人材の育成と支援                                                                                                                               |                                                                                                               |      |                                                                       |
| 19<br>○人権の尊重<br>法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している | 職員の採用にあたっては、2人の管理者(男女各1名)の協議によって決定しており、性別・年齢等の差が無い様に配置している。                                                   | ○    | 宗教、思想に関わる差別や勧誘の防止などを目的としたガイドラインの作成。                                   |
| 20<br>○人権教育・啓発活動<br>法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる                                                               | 職員に対して入居者の人権を尊重させる教育の一環として、入居者の生活歴について把握させることを心がけている。身体的、精神的な虐待や拘束について講習への参加や全体会議での議題とし、認識を図らせている。            | ○    | 人権についての概念や啓発活動の具体的な取り組みについての講義や勉強会の開催。高齢者の人権に関わる啓発資料(パンフレット)等の職員への配布。 |
| 21<br>○職員を育てる取り組み<br>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている                                            | パートを含む全職員を対象に施設内の定期勉強会を開催している。事業所外での講習会や研修に職員が積極的に参加できるよう参加費等の負担免除を行なっている。事業所外講習については資料等を掲示し職員が共有出来るようになっている。 | ○    | 他の事業所との学習会を企画開催する(以前実施していたが現在中断している)。                                 |
| 22<br>○同業者との交流を通じた向上<br>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている                                  | グループホーム協議会へ参加し、当事業所主催での勉強会を開催した。                                                                              | ○    | 他の事業所との合同研修会を企画する。<br>他のグループホームへの見学や相互研修を企画する。                        |
| 23<br>○職員のストレス軽減に向けた取り組み<br>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる                                                                     | 日常の中で職員の生活状況、ストレス、悩み職員同士の人間関係等の把握に努め、個別に話を聞く機会をなるべく設けている。事業所内での職員間の親睦が図れる場(親睦会など)を設けている。                      | ○    | 労働条件の緩和及び福利厚生の方の更なる充実。ストレス解消に向けての個別の対応法の検討と実践。                        |
| 24<br>○向上心を持って働き続けるための取り組み<br>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている                                                         | 職員の自主性に任せた企画(夏祭りなど)の実施。健康状態の把握及び医療的なケアサポート。                                                                   | ○    | 職員が向上心を持っては働けるよう、職員の努力や成果を反映できる職能評価を行なう<br>資格取得に向けた支援づくり              |

| 項 目                      |                                                                                                                  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                                       | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                                        |
|--------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-------------------------------------------------------------------------|
| <b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b> |                                                                                                                  |                                                                                                       |      |                                                                         |
| 1.相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 |                                                                                                                  |                                                                                                       |      |                                                                         |
| 25                       | ○ 初期に築く本人との信頼関係<br>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている                           | 落ち着いて話せる環境を考え、ただひたすらに傾聴する姿勢をとっております。                                                                  | ○    | スタッフ全員で同じ関わりができるよう個人の資質の向上を目指したいです。                                     |
| 26                       | ○ 初期に築く家族との信頼関係<br>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている                                | 入居前のご家族のホームへの訪問、後日再び来られての相談に対しては十分にお話を聞けるよう、ゆったりとした気持ちで接するよう心がけております。                                 | ○    | 上記同様にスタッフ個々の資質の向上を目指し、ご家族との信頼関係を構築していきたいです。                             |
| 27                       | ○ 初期対応の見極めと支援<br>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている                                        | ご本人、及びご家族が希望しているものが、その時点で適当であるかどうか判断をしたうえでグループホームに入居される必要があれば対応いたします。また、そうでない場合は別の支援方法を提案しております。      |      |                                                                         |
| 28                       | ○ 馴染みながらのサービス利用<br>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気にならないうちに徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 入居前に体験利用をしていただき、職員や他の利用者ならびにホームの雰囲気に徐々に馴染んでいただくよう、ご本人に合わせた柔軟な対応をしております。入居される当初は、ご家族に面会等の協力をいただいております。 |      |                                                                         |
| 2.新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 |                                                                                                                  |                                                                                                       |      |                                                                         |
| 29                       | ○ 本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている                                | 一緒に台所に立つ仕事（食器拭き、台拭きなど）を行ない、また他の様々な場面においても一つ一つの作業を通して教えていただく事が多くあります。                                  |      | 利用者のADLの低下に伴い同じ作業をする場面が、以前より少しずつ減少してきている。共に支えあう場面を更に工夫し、気持ちの活性化を考えています。 |

| 項 目 |                                                                                 | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                                        | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                                |
|-----|---------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-----------------------------------------------------------------|
| 30  | ○ 本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている         | 面会時は利用者の近況を伝えると共に、ご家族の様子を伺うようにしている。多くの方が自身の体調の不良の訴えをされるようになり、相談相手や聞き役になっております。                         |      |                                                                 |
| 31  | ○ 本人と家族のよりよい関係に向けた支援<br>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるよう支援している              | ご家族が面会される場合は、最初ご家族の方だけで十分に過ごしていただき、お茶をお出しする時に最近の様子を話したり、質問に答えたりしております。また、遠方に在住の方々には手紙を書いていただいたりしております。 | ○    | 夜間の面会に関しては、ゆっくりとお話を伺う事が難しくなりますが、可能な限り近況は伝えるよう心掛けております。          |
| 32  | ○ 馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう支援に努めている                | 友人やご家族との外出、外食の予定が決まるとその日に向けて入浴日や食事の予定を調整し、気持ちよく出かけていただくことを第一と心掛けております。季節により衣服に気を配り、化粧もしていただいております。     | ○    | ほとんどの方が車椅子を使用している外出となります。体調や時期をみて（ご家族へも働きかけ）外出の機会が増えるようにしていきたい。 |
| 33  | ○ 利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている              | 利用者の個性や認知度の違いを把握した上でスタッフが間に入り、他者とのスムーズな関わりができるよう気をつけております。                                             | ○    | お茶や食事の時間を一緒にとり、楽しい時間を過ごす事で各利用者間が穏やかで円滑な関係が持てるようにしている。           |
| 34  | ○ 関係を断ち切らない取り組み<br>サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている | 終了＝死亡退去という形がほとんどです。後日、ご家族が外来受診などで来院された際は、近況などを伺うようにしております。                                             |      |                                                                 |

| 項 目                                  |                                                                                                     | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                                                              | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)       |
|--------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|----------------------------------------|
| <b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>     |                                                                                                     |                                                                                                                              |      |                                        |
| <b>1.一人ひとりの把握</b>                    |                                                                                                     |                                                                                                                              |      |                                        |
| 35                                   | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している                                        | 日々の介護場面での声掛け、その返答、表情、態度などから推察している。それが困難な場合は、ご家族から情報を頂いている。                                                                   |      |                                        |
| 36                                   | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                    | 第一に日々の会話の中から、利用者の口から聞ける事があります。また、ご家族や知人の面会時に少しずつ情報を頂く事ができる。                                                                  | ○    | 利用者のプライバシーに触れる事であり、十分に配慮して行なっている。      |
| 37                                   | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている                                          | 各利用者の一日の生活リズムを理解したうえで、声掛け時の反応や僅かな動きからも体調や現状把握に努めている。                                                                         | ○    | 過剰な介護が利用者の意欲をそぎ、ADLの低下を招く事を十分理解していきたい。 |
| <b>2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b> |                                                                                                     |                                                                                                                              |      |                                        |
| 38                                   | ○チームでつくる利用者本位の介護計画<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している     | 利用者からは意思疎通が困難な方があり、表情やしぐさなどで意向を探り、ご家族からは事前に意向を伺っております。カンファレンスを行い、ご本人の希望、ご家族の意見を伺い、利用者本人が生きがいを感じることで生活支援者としての介護計画の作成に努めております。 |      |                                        |
| 39                                   | ○現状に即した介護計画の見直し<br>介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 3ヶ月毎に見直しを行い、できなかったことに関しては他の支援方法が無いか検討しております。また、状態の変化があった場合には速やかに見直しを行い介護計画を作成しております。                                         |      |                                        |

| 項 目                        |                                                                                           | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                                        | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)            |
|----------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|---------------------------------------------|
| 40                         | <p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>    | <p>個別介護記録にその日の状況などの記録を行なっています。また、特に注意すべき点や改善すべき点については、申し送り欄に記載しスタッフ間で情報の共有をすると共に介護計画の見直しに活用しております。</p> | ○    | <p>介護記録への記録の仕方を勉強し、更に的確な介護計画の見直しに活かしたい。</p> |
| 3.多機能性を活かした柔軟な支援           |                                                                                           |                                                                                                        |      |                                             |
| 41                         | <p>○事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>              | <p>食事、入浴、睡眠などは各利用者に合わせて柔軟に対応しております。ご家族との外出に関しても医療面と連携を取っております。また、面会時間に関しても柔軟に対応しております。</p>             |      |                                             |
| 4.本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 |                                                                                           |                                                                                                        |      |                                             |
| 42                         | <p>○地域資源との協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p>             | <p>近隣の中学生在が福祉の職場体験で多数訪れており、利用者の方々と楽しい時間を過ごしております。また、この夏より民生委員と関わりがとれ、定例会議を通じて意見交換の場を設けております。</p>       | ○    | <p>さらに力を入れていきたいと考えております。</p>                |
| 43                         | <p>○他のサービスの活用支援</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p>  | <p>利用者及びご家族の希望により、訪問理美容や訪問マッサージのサービスを利用いただいている。</p>                                                    |      |                                             |
| 44                         | <p>○地域包括支援センターとの協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p> | <p>運営推進委員会には地域包括支援センターより2名の出席予定となっている。今回の情報交換を機会にさらに良好な関係を気づいていきたいと考えております。</p>                        |      |                                             |
| 45                         | <p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p> | <p>事業所1階にあるクリニックより、医療の提供を受けている。その他の医療機関とも連携がとれており、利用者、ご家族の希望があれば以前より利用されていた医療機関の受診も可能です。</p>           |      |                                             |

| 項 目 |                                                                                                                                          | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                            | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                 |
|-----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|------|--------------------------------------------------|
| 46  | <p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>                                              | 事業所 1階に専門医がおり、利用者やご家族、職員の相談にも気楽に応じてもらえ適切なアドバイスをいただけています。                                   | ○    | より良い関係が持続していくようにコミュニケーションを取ってきたい。                |
| 47  | <p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>                                                             | 日頃から利用者の健康管理や医療的な場面での対応が行なわれており、適切なアドバイスを提供していただいている。また、看護職との関係は良好。                        | ○    | 異常時の早期発見が今以上にスムーズかつ、十分な対応ができるよう勉強会等でレベルアップを図りたい。 |
| 48  | <p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>                      | 入院中は時折面会に行き、医療スタッフより病状や経過についての情報を得ている。院内に地域医療連携室の存在は把握しているが時間外、救急等が多いため面識は十分ではありません。       | ○    | 今後のことを考え、今以上に病院スタッフ及び地域医療連携室の方々との関わりを持っていきたいです。  |
| 49  | <p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>                                   | 「穏やかな死の援助」を理念としてあげている。事業所 1階にクリニックもあり、早い対応ができる点でご家族は安心されております。入居時、終末期の指針を定め話し合いがとられっております。 |      |                                                  |
| 50  | <p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p> | 事業所オープン当初より、ターミナルケアを実施しており、医療の連携が取れているため利用者、ご家族共に安心して最期を迎えられております。                         |      |                                                  |
| 51  | <p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>                      | それまでに知り得た情報が次のところで生かせるように十分な引継ぎを双方の関係者で行なっております。                                           |      |                                                  |

| 項 目                                                                                          | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                        | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                          |
|----------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------|------|-----------------------------------------------------------|
| <b>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>                                                                |                                                                                        |      |                                                           |
| 1.その人らしい暮らしの支援                                                                               |                                                                                        |      |                                                           |
| (1)一人ひとりの尊重                                                                                  |                                                                                        |      |                                                           |
| 52<br>○ プライバシーの確保の徹底<br>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない                    | 皆が集まるリビングの会話は気をつけております。スタッフ間で早く共有したい事項は、取り決めた内容で共有している。記録は人目に触れないようにかいております。           | ○    | すでに意思表示が難しい方が多い中、スタッフ自身が一番心しておく事項であると考え、ミーティング等で勉強していきたい。 |
| 53<br>○ 利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めた納得しながら暮らせるように支援をしている | 自分の気持ちを上手く伝えられない方には簡単な言葉で伝えられるよう聞き方に配慮しております。また、その時の表情や身体の動きなどでご本人のサインを見逃さないようにしております。 | ○    | スタッフの観察力を高めたい。                                            |
| 54<br>○ 日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している      | その日の体調や前日の睡眠状態を頭に入れており、不眠が続いた際は自然に目覚めるまでゆっくりと休んでもらっております。食事時間も時間をずらして食べていただいております。     |      |                                                           |
| (2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援                                                                 |                                                                                        |      |                                                           |
| 55<br>○ 身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている                 | 訪問美容が、第2火曜日、第4金曜日にきており、家族の希望、個人の希望等を聞き入れながら、カラー、カット、パーマを行なっている。                        | ○    | 女性であれば「女らしさ」を保っていけるようお化粧する時間を作りたい。(現在以上に)                 |
| 56<br>○ 食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている          | 食事の準備が困難な為、片付け(お茶碗拭き、エプロンたたみ)など手伝っていただいている。                                            |      |                                                           |
| 57<br>○ 本人の嗜好の支援<br>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している                 | ご家族より、皆でないが、個人のお金を預かり、月に2度程買い物に行き、少しでもおやつ時が楽しみになるよう支援している。又、家族の面会時の差し入れを出したりしている。      | ○    | 入居者と一緒に買い物く機会をつくりたい。                                      |

| 項 目                          |                                                                                            | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                                     | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                     |
|------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|------|------------------------------------------------------|
| 58                           | <p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>       | 入居者1人1人の排泄パターンを把握しできるだけトイレでの排泄ができるように支援している。パット内に排泄された場合でもムシが少ないパットを使用している。昼間はなるべく、布パンツを着用してもらっている。 | ○    | 排泄パターンを把握した上で布パンツ使用者を増やしていきたい。                       |
| 59                           | <p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>   | 前日あたりから、体調等確認し、排便コントロールと重ならないように支援している。1日3名ほど入浴される。浴槽にもいい香りのお入浴剤を使用し、香りからリラックスできるように支援している。         |      |                                                      |
| 60                           | <p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>                    | 室温、衣類、布団調節、乾燥していれば加湿器使用している。夜間のパット交換は0時、6時と間を開けている。スタッフで検討し、機能の良いパットを使用している。                        | ○    | 排泄パッドは、日々改良されているため、より快適に過ごしていただくためにも、勉強会を開き、知識を高めたい。 |
| (3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 |                                                                                            |                                                                                                     |      |                                                      |
| 61                           | <p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p> | 役割は決めていない。裁縫が得意な方には、ハサミで布を切って頂いたり、花が好きな方には、テラスに花を見に行ったり、字が上手な方には、持ち物に名前を書いてもらったり気晴らしも含め支援している。      |      |                                                      |
| 62                           | <p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p> | お金も認識できる方が少ないため、ご家族、又はスタッフが管理している。                                                                  | ○    | 金銭に関する書類の準備中です。                                      |
| 63                           | <p>○日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>                   | 今、現在、外出する機会が少なくほとんど外出できていない。正月など、自宅に外出される方もいらっしゃる。                                                  |      |                                                      |
| 64                           | <p>○普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり支援している</p> | 事業所開設当時は、歩かれる方がほとんどでよくドライブに行っておりました。現在は外出される方が限られている状態です。                                           |      |                                                      |

| 項 目             |                                                                                          | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                                | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                                |
|-----------------|------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-----------------------------------------------------------------|
| 65              | ○ 電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり手紙のやり取りができるように支援をしている                                   | ご家族への書類郵送時には、一行でもと思い自筆で書いていただき、スタッフからの近況と一緒に添えております。                                           | ○    | 最近を書くことを拒否される事が多くなっております。どう改めていけばよいか思案中です。                      |
| 66              | ○ 家族や馴染みの人の訪問支援<br>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している                   | 面会に来られる方の都合で訪問時間は自由として決めております。仕事帰りに来られて寝顔を見て安心して帰られるときもあります。                                   | ○    | 他の用事で対応できないときもありますが、可能な限り「声掛け」や「笑顔」で対応したいと考えます。                 |
| (4) 安心と安全を支える支援 |                                                                                          |                                                                                                |      |                                                                 |
| 67              | ○ 身体拘束をしないケアの実践<br>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 定期的に身体拘束に関する会議を開いております。本人の体調により動きが変化してくるためその変化やサインを見逃さないよう十分気をつけて拘束へとらないよう努力しております。            | ○    | まだ経験浅いスタッフにも本人からのサインを見逃さないため、十分な気配りができるよう指導しています。               |
| 68              | ○ 鍵をかけないケアの実践<br>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる                  | 現在は出て行こうとされる方はいらっしゃいません。「帰りたい」と言われるときには一緒に近くまで散歩、外出し落ち着いていただいています。                             |      |                                                                 |
| 69              | ○ 利用者の安全確認<br>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している                           | 常時スタッフ間の声掛けを十分に行い、全員集まるリビングには常にスタッフが1名いて危険な状態にならないよう気をつけております。                                 |      |                                                                 |
| 70              | ○ 注意の必要な物品の保管・管理<br>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている                     | ハサミなどの使い方を間違えると危険となるものでも、スタッフが必ず同席して使用することとしております。使用後は紛失などないように物品の確認を行い注意を払っております。             | ○    | 「危ないから…」と使わないのではなく、一緒に行なう事で心身の活性化に良いと思います。しかし、最近拒否が目立つようになりました。 |
| 71              | ○ 事故防止のための取り組み<br>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる                  | 事故に至る前の段階で、その事が予測できるようスタッフ間で情報を交換し事故防止につなげております。事故が起こった場合は、事故後にヒヤリハットを記録し職員間で共有の認識を持ってもらっています。 |      |                                                                 |

| 項 目                       |                                                                                         | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                                              | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                                                 |
|---------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|----------------------------------------------------------------------------------|
| 72                        | <p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>                 | 緊急時の対応はマニュアルを用意しております。救急救命の講習は交代で参加を実施、予定しております。昼夜共に医療スタッフとの連携が密にとられております。                                   | ○    | 救急救命への参加がスタッフ全員に行き渡るような体制をとりたいです。                                                |
| 73                        | <p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人の協力を得られるよう働きかけている</p>    | 定期的に火災時の避難訓練を実施しております。(年二回)町内の定例会への参加により、事業所の存在をアピールしております。                                                  | ○    | 12月2日校区の防災訓練への参加を予定しています。                                                        |
| 74                        | <p>○リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている</p> | ご家族の面会時に最近の様子をお話しているが、危険なことが予想される時は、医師より状況説明を行い理解を得られるよう努めております。                                             |      |                                                                                  |
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 |                                                                                         |                                                                                                              |      |                                                                                  |
| 75                        | <p>○体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>           | 日ごろの表情や動き、食事摂取量、入浴時のバイタル測定などを行い異常の早期発見に努めております。発見時は速やかに他のスタッフへの情報伝達を行い、必要なときは1階のクリニックに連絡を入れております。            | ○    | スタッフが日々の生活の中で「体調良」の状態を把握するよう指導し、その情報を共有している。                                     |
| 76                        | <p>○服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>       | 薬に添付されている情報用紙を参考にして服薬を行っております。服薬時は二重のチェックを行い誤薬防止に努めております。薬の内容に変更が生じた時は、医師、看護師により連絡が入るシステムとなっております。           |      |                                                                                  |
| 77                        | <p>○便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>         | 利用者の状態に応じた内容、形態、時間を考慮し提供している。身体を動かす機会が減っているため、車椅子、トイレ時、移乗の立位、歩行介助、入浴時の腹部マッサージを実施している。                        | ○    | 水分(お茶、汁物)へのトコナゲ、副食(牛乳、食)へのトコナゲ、野菜は少し温めて量を減らししんなりとさせる。また、豆類はつぶしてお湯でのばすなどを行っております。 |
| 78                        | <p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>                    | 毎食後、休息前に洗面所に行き、うがい、義歯洗浄、歯ブラシが使える方は、自分でやってもらう。無理な方にはスタッフが用具を使い口腔ケアを行っている。毎週、歯科衛生士より口腔ケア、チェックを行い指導を受け実施しております。 | ○    | スタッフの勉強会時、口腔ケアも取り上げています。歯科衛生士より利用者個々のケアのポイントを教えてもらい日々のケアに役立っている。                 |

| 項 目                    |                                                                                                                                                                 | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                               | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)              |
|------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|------|-----------------------------------------------|
| 79                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>○栄養摂取や水分確保の支援</li> </ul> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通して確保できるよう一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>                                    | 咀嚼力、嚥下力、義歯の有無、体力を考慮し、かゆ食、キザミ食、ミキサー食、トロミ付け食を摂っていただいております。食事回数の少ない方には、高カロリー食を固形化して摂っていただいております。 | ○    | 水分補給のためにアクエリアスを作っているが、その他の味も手がけていきたい。         |
| 80                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>○感染症予防</li> </ul> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>                                         | インフルエンザ予防接種は、毎年実施(利用者、職員、希望される家族)手洗い、うがいの施行、消毒薬の使用、使い捨てのペーパータオルの使用で対応しております。                  |      |                                               |
| 81                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>○食材の管理</li> </ul> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>                                        | 食事作りは三食とも1階の厨房にお願いしており調理は行っておりません。毎食後のふきんの交換、夜勤時流し台の洗浄と消毒を行っております。食器洗いは手洗いと食洗機を併用しております。      | ○    | 用具等の衛生管理を徹底する為に実施表を作成し利用しています。                |
| 2.その人らしい暮らしを支える生活環境づくり |                                                                                                                                                                 |                                                                                               |      |                                               |
| (1)居心地のよい環境づくり         |                                                                                                                                                                 |                                                                                               |      |                                               |
| 82                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>○安心して出入りできる玄関まわりの工夫</li> </ul> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>                               | 玄関入り口にはマット、靴入れ、来客用スリッパ、椅子を置いております。常時緑の鉢物や季節を感じる花や鉢物を飾っております。                                  | ○    | 事業所が3階にある関係で置物が制限されているところがある。工夫の余地がある場面かもしれない |
| 83                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>○居心地のよい共用空間づくり</li> </ul> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | 入浴の際の入浴剤の使用、食堂での炊事風景、空気の換気、クリスマスツリーなどの季節ごとの催し物の飾りつけ等といった環境づくりを行っております。                        |      |                                               |
| 84                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</li> </ul> <p>共用空間の中には、独りになれたり気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>                               | TVの前にソファをおき、寝転んでTVやビデオ、音楽鑑賞をしていただいている。和室もあり、そこでも寝転んだり先出れます。                                   |      |                                               |

| 項 目                    |                                                                                                    | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                                                  | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                    |
|------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-----------------------------------------------------|
| 85                     | <p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>昔または最近の写真を飾っております。利用者により趣味、嗜好のものが配置できている方とできていない方が存在しております。</p>                                               | ○    | <p>居室の都合により、物の配置が出来ない場合もあるので、まだ工夫の余地があると考えています。</p> |
| 86                     | <p>○換気、空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気の上のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>      | <p>汚物は新聞紙、広告紙を使用して包み汚物入れに廃棄しております。また、24時間の換気に関しては窓の開放を適宜に実施しております。部屋の配置により温度差が発生する為、冷暖房や掛け物によって調節を図っております。</p>   |      |                                                     |
| (2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり |                                                                                                    |                                                                                                                  |      |                                                     |
| 87                     | <p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>                 | <p>バリアフリーの床、手すり等設置しておりますが一人で歩行される方がいないため利用されておられません。</p>                                                         |      |                                                     |
| 88                     | <p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>                           | <p>各利用者の居室、浴室、トイレなどにはネームプレートがあり、それで理解していただきます。また、このような表示物に関しては利用者の目線に合わせた配置をしております。</p>                          |      |                                                     |
| 89                     | <p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり活動できるよう工夫している</p>                                     | <p>建物1階に木々や花々が植えてあります。2階はデイサービススペースとなっておりますが、こども花壇や鉢植えに季節の植物を植えてあります。また、そこを車椅子で散歩し花を見たり、野菜の成長を楽しんでいただいております。</p> |      |                                                     |

| .サービスの成果に関する項目 |                                                 |                       |                |
|----------------|-------------------------------------------------|-----------------------|----------------|
| 項 目            |                                                 | 最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。 |                |
| 90             | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる                     | ○                     | ほぼ全ての利用者の      |
|                |                                                 |                       | 利用者の 2/ 3 くらいの |
|                |                                                 |                       | 利用者の 1/ 3 くらいの |
|                |                                                 |                       | ほとんど掴んでいない     |
| 91             | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある                        |                       | 毎日ある           |
|                |                                                 |                       | 数日に 1 回程度ある    |
|                |                                                 | ○                     | たまにある          |
|                |                                                 |                       | ほとんどない         |
| 92             | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている                           | ○                     | ほぼ全ての利用者が      |
|                |                                                 |                       | 利用者の 2/ 3 くらいが |
|                |                                                 |                       | 利用者の 1/ 3 くらいが |
|                |                                                 |                       | ほとんどいない        |
| 93             | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている                | ○                     | ほぼ全ての利用者が      |
|                |                                                 |                       | 利用者の 2/ 3 くらいが |
|                |                                                 |                       | 利用者の 1/ 3 くらいが |
|                |                                                 |                       | ほとんどいない        |
| 94             | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている                          |                       | ほぼ全ての利用者が      |
|                |                                                 |                       | 利用者の 2/ 3 くらいが |
|                |                                                 | ○                     | 利用者の 1/ 3 くらいが |
|                |                                                 |                       | ほとんどいない        |
| 95             | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている                    | ○                     | ほぼ全ての利用者が      |
|                |                                                 |                       | 利用者の 2/ 3 くらいが |
|                |                                                 |                       | 利用者の 1/ 3 くらいが |
|                |                                                 |                       | ほとんどいない        |
| 96             | 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている         | ○                     | ほぼ全ての利用者が      |
|                |                                                 |                       | 利用者の 2/ 3 くらいが |
|                |                                                 |                       | 利用者の 1/ 3 くらいが |
|                |                                                 |                       | ほとんどいない        |
| 97             | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている | ○                     | ほぼ全ての家族と       |
|                |                                                 |                       | 家族の 2/ 3 くらいと  |
|                |                                                 |                       | 家族の 1/ 3 くらいと  |
|                |                                                 |                       | ほとんどできていない     |

グループホーム 楽居

| 項 目 |                                                         | 最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。 |               |
|-----|---------------------------------------------------------|-----------------------|---------------|
| 98  | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている                        |                       | ほぼ毎日のように      |
|     |                                                         |                       | 数日に1回程度       |
|     |                                                         | ○                     | たまに           |
|     |                                                         |                       | ほとんどない        |
| 99  | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている | ○                     | 大いに増えている      |
|     |                                                         |                       | 少しずつ増えている     |
|     |                                                         |                       | あまり増えていない     |
|     |                                                         |                       | 全くない          |
| 100 | 職員は、活き活きと働いている                                          | ○                     | ほぼ全ての職員が      |
|     |                                                         |                       | 職員の 2/3 くらいが  |
|     |                                                         |                       | 職員の 1/3 くらいが  |
|     |                                                         |                       | ほとんどいない       |
| 101 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                           | ○                     | ほぼ全ての利用者が     |
|     |                                                         |                       | 利用者の 2/3 くらいが |
|     |                                                         |                       | 利用者の 1/3 くらいが |
|     |                                                         |                       | ほとんどいない       |
| 102 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                       | ○                     | ほぼ全ての家族等が     |
|     |                                                         |                       | 家族等の 2/3 くらいが |
|     |                                                         |                       | 家族等の 1/3 くらいが |
|     |                                                         |                       | ほとんどできていない    |

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

理念に基づいて「ターミナルケア」実践しております。その都度神聖な場面であります。繰り返しの中で「慣れ」の気持ちが生じないように心にかけていきたいです。